

令和5年度事業報告

障害者支援施設 四ツ葉園

令和5年度は、4年ぶりに保護者とボランティアが参加して納涼祭・園祭が実施された。その他にも地域のボランティアのご協力により、各行事や喫茶コーナーは盛況であった。四ツ葉園からもボランティアグループ「四ツ葉園やまゆりの会」が、立山寺の清掃や上市町社協ミニデイでの音楽療法を通して地域交流させていただいた。また、交通安全啓発マスコットづくりに永年取り組んできたことが「第64回交通安全国民運動中央大会」において、交通安全優良団体を受賞した。感染症はいまだ地域での流行期があり、園内でも利用者罹患の際には感染拡大防止策として日課の変更等対応を行った。

利用状況

新規入所者4名（家庭より2名、児童施設より1名、病院より1名）

退所者4名（家庭へ1名、施設入所【身体】1名、病院へ1名、入院治療中の死去1名）

5年度には平均障害支援区分が5となり障害の重度化が進んでいる。また、ご本人、両親の高齢化もすすんでおり、現在15名の方が成年後見人制度を利用されている。医療的ケアが必要な方も2名在籍している。

この4年間は満床状態が続いているため、新規入所の希望については、十分には答えられない状態となっている。

施設収入は安定しているものの、重度・高齢化への対応には苦慮しているところである。

< 参考 最近5年間の利用状況 >

利用者数

3月末日

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
男	51名	53名	54名	53名	52名
女	26名	27名	28名	28名	28名
計	77名	80名	82名	81名	80名

平均年齢

3月末日

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
男	41.5歳	42.6歳	42.9歳	44.3歳	43.6歳
女	54.3歳	54.6歳	50.2歳	50.3歳	51.3歳
全体	45.9歳	46.7歳	45.4歳	46.4歳	46.3歳

平均障害支援区分

3月末日

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
男	4.80	4.81	5.00	5.06	5.19
女	4.12	4.30	4.52	4.57	4.67
全体	4.55	4.64	4.71	4.81	5.01

短期入所支援（定員 6 名）（前年比）

	利用者数	利用延べ日数
短期入所	17 名（2 名増）	424 日（79 日増）
日中一時支援	8 名（4 名増）	109 日（96 日減）

（1）利用者支援について

「頑張る活動としての班活動」と「楽しむ活動としての余暇活動」とのメリハリがついてきた年度であった。特に余暇活動は選択肢も増え、参加者も多くなってきた。

令和 5 年度の主な行事は次のとおりである。

月	行 事
4	お花見 健康診断
5	夜間想定避難訓練 選択外出（いちご狩りへ出かけよう）
6	歯科検診 選択外出（パーベキュー広場でピザを作ろう）
7	歯科検診 歯磨き教室 選択外出（ショッピングセンターで買い物しよう）
8	七夕の会 夏まつり
9	交通安全マスコット寄贈 選択外出（電車に乗って外出しよう） 選択外出（ショッピングセンターで買い物しよう）
10	園祭 健康診断 インフルエンザ予防接種 選択外出（牧場へ行こう）
11	災害時想定招集訓練 インフルエンザ予防接種 新型コロナワクチン接種 6 回目 選択外出（温泉へ行こう） 選択外出（剣フェスティバルへ行こう）
12	吹奏楽演奏会（ノクチュール） 期末の集い もちつき会 選択外出（映画館へ行こう）
1	新年を祝う会 ハーティー富山へ出かけよう
2	節分会 夜間想定避難訓練
3	ひな祭りの会

（2）事故・ひやりはっと報告について

服薬関係では 8 件のうち 6 件が夜間帯の報告となっている。夜勤者 1 名が、一度に 25 名分、55 包装の服薬支援をしている現状もあり、服薬支援のシステムの検討が必要。また、同一利用者が複数回報告されていることもありケース検討を行い、事故の場面だけでなく生活全体の支援を見直した。

（3）人権の擁護について

身体拘束廃止・虐待防止委員会を年 3 回実施。また、意思決定支援など各種外部研修での復命報告を通して、職員の意識の向上を目指した。5 年度末には地域移行等意向確認を全利用者に行い個別支援計画に反映した。

(4) 職員の資質向上

介護福祉士資格取得について法人としてバックアップし、2名が新たに取得した。

富山県歯科保健医療総合センターより、歯科衛生士による歯磨き支援の講習を受け、口腔内の衛生保持について学んだ。

各種研修参加職員は、全体職員会議にて復命報告し学びを共有した。

委員会体制を継続し、若手職員が意見を言いやすい環境を整え、課題や想いを共有し互いに学びながら支援を行った。

(5) 非常災害対策等について

夜間想定避難訓練、災害時想定避難訓練を実施。

1月1日の能登半島地震では、園残留利用者45名の安全確保、施設状況確認について迅速な対応が行われ被害はなかった。また、3名の職員を被災地支援に派遣し現場の状況や学びを全体会議で共有した。

(6) 感染症感染防止対策について

「新川会感染対策委員会」の実施。看護師は専門研修にも参加し感染症への知識と技術を深めた。12月に利用者の新型コロナウイルス感染症発生があったが、業務継続計画を実施したことで、一部ユニット内での感染にとどまった。

令和2年度からの感染症対応について「北陸地区施設職員研究大会」にて発表した。

(7) 実習生、ボランティアの受入れについて

保育士実習、介護福祉士実習、社会福祉士実習と内容の異なる実習受け入れがあったが、職員それぞれの専門性を活かして実りのある実習になった。また、当園で実習した学生のうち1名が当法人の令和6年度新規職員として採用された。

(8) 地域交流について

園として地域にできることを利用者と共に取り組んだ。特に、上市町社協ミニデイで実施した音楽療法では「　　さん来てくれたら元気になるわ」と喜んでくださり励みになっている。

地域の衣料店(しまむら上市店)の移動販売では、体育館がお店のようになり、利用者がゆっくりと好みのものを選んで購入した。また、地域の理容店と顔なじみになり、会話を楽しみながら理髪や毛染めができた。

新川会 地域生活相談室

はじめに

地域で暮らしている障害者（児）と、その暮らしを支えている家族に対し、相談を通して生活に必要な情報の提供と、それに伴う生活向上のための支援を行った。

また、精神的負担感を感じやすい業務であるため、引き続き相談室内でのケースの共有や現場教育を行い、バーンアウトを防ぐとともに、相談支援技術における専門スキルの向上を図っていきたい。

（１） 計画相談

計画相談支援	466件（成人	296件	児童	170件）	前年度	451件
新規	32件（成人	16件	児童	16件）		
モニタリング	685件（成人	552件	児童	133件）	前年度	509件

令和5年度の計画相談の更新件数は、前年度と比較して15件増えた。

モニタリング件数は、目標を600件としていたところ、685件と大きく伸ばすことができた。新規の利用者は、32件（成人16件、児童16件）だった。

（２） 一般相談

家庭での粗暴行為がエスカレートしたケース、保護者の入院や認知症の発症により家庭状況が変化したケース等は、緊急的に介入したが、サービスが定着し生活が安定するまで時間がかかった。特に今までサービスを利用したことがない人の場合、サービス利用に慣れるまで丁寧な支援が必要であった。

引きこもりのケースには、障害特性の理解と本人との関係作りから始まるため、時間がかかった。

介護保険サービスへスムーズに移行できるよう、担当者会議で本人の情報等を引継ぎし連携した。

障害者虐待の案件については、関係機関と連携し本人の安全確保を優先し、その後の安心した暮らしに向けての支援を行った。

（３） 障害児相談

ミュージック・ケアを保育所入所前の子育てサークル等で7件実施予定としていたが、保育園の都合により1件、中止となった。

障害児支援サークル「星の子サークル」（立山町）の活動のうち、クリスマス会と書道教室のみ支援を実施した。

(4) 地域生活支援拠点

コーディネーター業務

相談対応、緊急的な対応が必要となる者の支援、地域生活支援拠点拡充に関する協議を実施した。

実態把握訪問	0 件
緊急受入	2 件

(5) その他

人権の擁護について

成年後見制度の利用に係る相談や申立に係る諸手続きのサポート、日常生活自立支援事業の利用のための情報提供やサポートを行った。ほか、障害年金、療育手帳等各種申請や手続きの相談を受け助言や支援を行った。

地域ネットワークの構築

「滑川・中新川地域障害者自立支援協議会」の各部会活動において、それぞれテーマに応じて地域課題の抽出、共有をした。そのなかで、地域で暮らしている障害者とその家族の支援の充実のため、行政、関係機関及びサービス事業所とネットワークの構築に努めた。

障害児等療育支援事業（施設支援一般指導事業）を活用して滑川市内の事業所と合同で身体を動かす機会や交流を深めるきっかけを設けた。

新川会 グループホーム

(1) 利用状況

令和5年度に女性1名が病気療養のため退所し、女性2名が入居した。20代から70代までの幅広い年齢の方が在籍している。日中活動先は一般企業(1名)、就労継続支援A型(2名)・B型(22名)、生活介護(2名)介護保険の通所介護富山型デイサービス(2名)となっている。

< 参考 最近5年間の利用状況 >

利用者数

3月末日現在

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
男	18	18	18	20	20
女	9	9	9	8	9
計	27	27	27	28	29

(まえざわ男性6/7、かわはらだ男性7/7、つつみだに女性9/9、第2つつみだに男性7/7)

(2) 利用者支援について

新型コロナウイルスが5類に移行したことで、自粛してきた各種イベント等への参加を状況に応じて実施し、フライングディスク大会の参加や合同新年会等、利用者の楽しめる行事の実施に努めた。帰省についても中止していたところ、お盆帰省から実施した。しかしお盆帰省からホームに戻り発熱、感染した利用者がいた。

新型コロナウイルスについては、8月につつみだにの家1名、かわはらだの家1名、12月にかわはらだの家1名が感染したが、感染症対策を適切に実施し、感染が拡がることなく終息している。

(3) 人権の擁護について

個別支援会議や虐待防止委員会にて、一人ひとりの支援の振り返りをし、人権擁護に努めた。また、保護者が高齢、病気等により亡くなられ、第三者成年後見人が選任されるケースが増えてきており、後見人との情報共有を図っている。

(4) 職員の資質向上

外部研修は、職種に合わせた研修に参加した。また、内部研修では、全体職員会議等で研修報告などを行った。

(5) 避難訓練について

6月は水害を想定しての避難訓練を、10月・3月は火災を想定しての避難・消火訓練を実施し、利用者・世話人と共に避難経路などの確認をした。元日の能登半島地震においては、日頃の訓練の成果もあり、テーブルの下に入るなど落ち着いて対応することができていた。

(6) 感染症防止対策について

検温（朝、夕）手指消毒、マスク着用、食堂にパーティションの設置等、基本的な感染対策は継続した。

(7) 関係機関との連携について

不適合行動や高齢化の対応として、日中活動の事業所や医療機関、介護保険サービス事業所、ケアマネジャーと随時情報共有、連携して支援にあたった。

(8) 地域との関係づくりについて

五百石地区社会福祉協議会・立山町社会福祉協議会との交流や、上市町社会福祉協議会 障害者パラスポーツ交流会、赤い羽根共同募金の街頭募金運動に参加した。

障害福祉サービス事業所 雷鳥苑

(1) 利用状況

生活介護事業は、これまで就労支援を利用していた2名が加わり、利用者数は16名となっている。

中には、引きこもり状態になった利用者もあり、家庭訪問も行ってきたが、登苑には至っていない。このような利用者に対しては、相談室と連携しながら支援を継続している。

就労継続支援B型は、2名が退所し、「工房よつば」の廃止に伴い、1名が加わったことで、利用者数は15名となった。就労支援事業では、現在のところ利用者数に余裕があるため、新規利用者の確保が課題となっている。

< 参考 最近5年間の利用状況 >

1日あたりの平均利用者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活介護	14.3人	14.3人	15.2人	13.0人	14.6人
就労継続支援 B型	15.9人	15.9人	16.8人	16.1人	17.2人

平均工賃

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
就労継続支援 B型	10,473円	9,894円	7,349円	13,877円	13,368円

(2) 利用者支援について

健康観察やミーティング等で利用者の情報を共有し、一人ひとりにあった支援を行ってきた。自治会の意見を取り入れた苑内行事を実施し、保護者やボランティアに協力していただき、賑やかな雰囲気を楽しむことができた。

特に、利用者が練習を重ねてきたハンドベルやドレミパイプは多くの人前で演奏することができて、自信につながった。

令和5年度の主要行事

月	行事	備考
4	お花見	常願寺公園、常願寺ハイツ方面 26名参加
7	遠足	宇奈月温泉 足湯、吉田科学館プラネタリウム(2班体制)

8	夏祭り会	ゲーム、模擬店等 赤十字奉仕団、雷鳥苑ボランティア参加
9	ふれあい育成スポーツ大会	中止
	交通安全マスコット配布	マスコットの作成、立山町交通安全協会の方と配布
10	苑祭（秋のお楽しみ会）	保護者と赤十字奉仕団、雷鳥苑ボランティア参加 町内の飲食店の出店、バンド演奏
11	社会参加支援事業	ミュージックケア 15名参加
	小学生交流会	作業体験、折り紙指導、オカリナ演奏 高野小学校 12名 赤十字奉仕団 2名
12	社会参加支援事業	絵画教室出展 13名出展
	もちつき	食堂
	期末の集い	下段地区社協と保護者会からプレゼント ホクデンからケーキ
1	新年を祝う会	実施
2	節分の会	実施
3	ひなまつりの会	実施

（３）生活介護メニュー

散歩やエアロバイク、ルームランナーを使用した運動メニューを実施し、結果を表示することで成果があがっている。

ペットボトルの洗浄、プレス作業と段ボールの組み立て作業を受託しており、従事者には年に２回の賞与を支給している。また、季節にあった装飾作りなどの創作的活動も実施しており、個性豊かな作品が玄関を彩っている。

（４）就労継続支援Ｂ型メニュー

利用者の多くは、（株）アスコから受託している野菜の下処理作業を行っており、最近はにんじんの受託量が増えている。

また、ペットボトルのリサイクル作業や、環境センターでの軽作業、（株）ホクデンのパンフレット封入作業に継続して取り組んでいる。そのほか、農福連携事業の一環として、サツマイモ圃場の除草や柿のドライフルーツ販売などを実施している。

（５）人権の擁護について

基本的な支援姿勢の振り返りと、利用者の視点に立った支援について職員全体で検討してきた。引きこもりや不適切な養育環境にある利用者に対して、訪問や電話連絡、様子観察を行い、関係機関と情報を共有している。

(6) 地域との関係づくりについて

立山まつりに参加したり、小学生との交流会を開催する等、地域の行事に積極的に参加している。また、今年度からは、立山町から「立山町社会参加支援事業」を受託し、ミュージックケア、絵画作品の展示、交通安全マスコットづくりなど、令和5年度は3回実施した。

コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、全体に地域との交流が増えた年になった。

(7) 職員の資質向上

コーチング研修や法人が実施する内部研修に参加している。農福連携アドバイザーから、農産加工にかかわる助言と指導を受け、専門的な知識を得る機会を設けた。

障害福祉サービス事業所 さつき苑

(1) 利用状況

生活介護は、養護者の入院に伴い、1名が四ツ葉園へ緊急入所した。また事業所の再編成に伴い利用者1名がつつじ苑へ移行した。このため、平均利用者数は15.9人と減少となった。

就労継続支援B型では、令和5年度新規の利用者はなかったが、長期間欠席していた利用者に送迎サービスを提供することで、登苑を再開することができた。

< 参考 最近5年間の利用状況および平均工賃額 >

1日あたりの平均利用者数

3月末日

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活介護	14.8名	13.2名	16.3名	16.7名	15.9名
就労継続	13.4名	13.2名	12.9名	13.1名	13.0名

平均工賃

3月末日

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
就労継続	10,720円	10,357円	19,602円	20,731円	23,894円

(2) 利用者支援について

利用者が楽しみながら日中活動をすごせるよう行事や運動に取り組んだ。また個別支援会議で情報共有し、支援を行った。

4年ぶりにさつき苑祭を開催することができた。利用者はアトラクションの練習に積極的に取り組み、日頃の活動の成果を保護者、地域の方に見てもらうことができた。

また、ここ3年間は、20才となる利用者が在籍していたことから、祝う会を実施しているが、今年も成人者1名と保護者に参加していただき、お祝いすることができた。着慣れないスーツに緊張している様子が見られた。

利用者の希望に合わせて県内各地に出かけ、買い物や食事などをグループごとに実施した。

令和5年度の主要行事

月	行 事
4	お花見
6	お楽しみ会食
7	遠足（呉羽ハイツ）
8	七夕の会 夏のお楽しみ会 遠足（ファボーレ）
9	遠足（魚津水族館）
10	秋のお楽しみ会

	インフルエンザ予防接種（於、四ツ葉園）
12	期末の集い
1	新年を祝う会 成人式 1名
2	節分の会
3	ひなまつりの会

（３）生活介護

昨年度より町民グラウンドでの運動に参加できる方も増え、休憩を取りながら 1 時間程度の長い時間の歩行運動を行うことができた。冬期間は、四ツ葉園の体育館に出かけ、1 年間継続して運動に取り組み、健康管理に努めた。苑内の活動としては、月 1 回の音楽療法を継続して実施した。創作活動で作った作品を毎月玄関に掲示し利用者、保護者に喜ばれた。また、さつき苑祭でも掲示し、来苑された方々にみてもらうことができた。

（４）就労継続支援 B 型

受託作業は、藤堂工業からのリテーナ作業の受注量が増加しており、収入は安定している。そのため、平均工賃額は前年度比 3,163 円増の 23,894 円となった。

自主製品は、ラベンダー、よもぎ等の入浴雑貨の販売数が減少したが、当帰の販売量は増加した。また、さつまいもは、加工品づくりに取り組み、「焼き干し芋」として「つるぎの味蔵」や「カミール」など地元のお店で販売することができた。

（５）新型コロナウイルス感染症感染防止対策について

そのほか、希望者には新型コロナワクチン（5.6 回目）接種、インフルエンザ予防接種を四ツ葉園にて実施した。

12 月にクラスターが発生し、利用者 11 名、職員 4 名が感染したため、3 日間の在宅支援を行った。

（６）人権の擁護について

個別支援会議や虐待防止委員会にて、一人ひとりの支援の振り返りをし、人権擁護に努めた。

（７）職員の資質向上

サービス管理責任者研修の意思決定支援や食品表示講習会、園芸作物講習会など自主製品づくりの参考となる研修会に参加した。

障害福祉サービス事業所 つつじ苑

(1) 利用状況

利用者数は生活介護12名(現在18名)、就労継続支援B型18名(現在15名)、放課後等デイサービス10名(現在13名)である。

新規利用者は生活介護で1名(令和6年2月1日にさつき苑から移行)、放課後等デイサービスは全員が新規利用者である。

退所者については3名だった。(家族からの希望が1名。本人の能力が落ちてきたことによる理由が1名。入所施設への移行が1名)

長期欠席や継続して利用ができない方については、家族支援や行動面でのサポートが必要な利用者は、相談室との連絡を密にしながら支援を行った。

< 参考 最近5年間の利用状況および平均工賃額 >

1日あたりの平均利用者数

3月末日

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活介護	9.7名	11.0名	10.3名	11.5名	12.6名
就労継続	18.7名	16.3名	15.3名	15.0名	13.2名
放課後デイ					5.6名

平均工賃

3月末日

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
就労継続	4,606円	5,202円	5,755円	5,936円	8,148円

(2) 利用者支援について

令和5年度は新型コロナウイルスが5類になったこともあり、基本的にコロナ禍以前の行事の形態で実施した。

今年度はスローエアロビック、3B体操、ヨガ教室を行い、体を動かす機会をふやした。サッカー教室や地域の読み聞かせサークルにも来苑してもらい絵本の読み聞かせや歌、手品など実施した。

令和5年度の主要行事

月	行事	実施状況
4	お花見	行田公園で実施。
5	遠足	3班に分かれて実施、魚津方面。

6	花しょうぶ祭り	利用者手作り製品販売
7	市社協ボランティア体験	小学生2名参加
8	夕涼み会	新川会職員によるウクレレ演奏等
9	ふれあい育成スポーツ大会	中止
11	つつじ苑祭	保護者参加で実施。利用者のステージ発表等。
12	障害者週間出店（滑川：エール）	利用者手作り製品販売
	もちつき	放課後等デイ利用者も参加
	期末の集い	保護者による演奏会等
1	新年を祝う会	成人者1名をお祝いする
2	節分の会	恵方巻作りを行う
3	ひな祭り会	桜餅作りを行う

（３）生活介護

日中活動として行田公園や滑川市スポーツ健康の森までの散歩、上市町のあさひの郷公園に行き遊具を使って体を動かした。荒天の場合は、社会福祉センター2階の大会議室を利用してウォーキング、トランポビクス、ボールエクササイズを行った。生産活動として（株）滑川市交通安全協会やサンフーズの広告封入作業を行った。8月と12月に賞与を支給した。

（４）就労継続支援B型

令和5年度の収入は1,810,630円（前年比43,624円増）だった。平均工賃は、令和5年度8,148円（令和4年度5,936円）だった。

作業種目については、滑川市からの地下道清掃の請負（2箇所）（有）重松、第一繊維工業有限会社のタオル伸ばし作業を行ってきた。

（５）放課後等デイサービス

令和5年度からの新規事業である。13名の方と契約をしている。支援学校等へ迎えに行き、保護者が迎えに来るまでの数時間を支援している。夏休み等の長期休みの際は、朝から夕方まで支援を行った。

一人ひとりの特性に合うように、運動や創作活動の機会を提供し、ありのままの自分で過ごせるような場所になるように支援を行った。

（６）人権の擁護について

個別支援会議や虐待防止委員会にて、支援の振り返り、人権擁護に努めた。

(7) 職員の資質向上

内部研修では、全体職員会議や通所会議で、研修報告やケース会議を行った。また法人内で主任者研修を行い資質向上に努めた。

(8) 新型コロナウイルス感染症感染防止対策について

感染対策として検温（朝、昼）手指消毒、マスク着用などの基本的な感染対策をおこなった。

(9) 実習生の受入れについて

指定校から社会福祉士や介護福祉士を目指す実習生を2名のべ13日間受け入れた。

(10) 地域との関係づくりについて

12月に滑川ショッピングセンターで、つつじ苑でパッケージした交通安全のチラシを関係者とともに配布した。

障害者サービス事業所 工房よつば

(1) 利用状況

令和5年度は利用者の2名の退所があった。1名が介護保険利用サービスの事業所へ、1名が本人希望により同法人内の他事業所へ移行した。令和6年度から10名の利用者がさつき苑へ行くことになり移行利用者10名の平均年齢は42.6歳である。

(2) 運営状況

令和6年度の再編成を見据えて、新たにさつき苑でのリテーナ作業を開始。従来の作業でも、利用者の適性や仕事の分担の見直しなどを行いながら活動した。受託作業量は変わりなかったが、リテーナ作業を行う事で人員配置の調整もあったが、利用者自身の準備の機会になったり、収入の増加に繋がった。農産物は夏の猛暑で水管理が必須となり人手や時間を多く要したが、継続できたことで大きな被害無く出荷することができた。生活行事は感染対策をしながらも、予定通り行うことが出来た。

保護者の方へも再編成に対しお知らせと説明の機会を持ち混乱なくご理解いただくことができた。

< 参考 最近5年間の利用状況 >

1日あたり平均利用者数

	平成元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人数	13.3人	11.9人	11.2人	11.8人	11.3人

平均工賃

	平成元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
金額	5,710円	5,720円	6,330円	7,069円	8,018円

(3) 利用者支援について

6年度からの再編成を利用者にお知らせしたことで各々が自分の将来を考える機会となった。他の事業所へ移行する利用者、さつき苑へ異動する利用者それぞれと話し合いの場を持ち期待と不安の中で揺れる思いに対し寄り添いながら支援を行ってきた。

従来の作業についても、メンバー構成が変更することでそれぞれの役割にも変化があり、新たな挑戦する機会になった。また、作業支援の統一など職員間で共有を行った。

令和5年度の主な行事は次のとおりである。

月	行 事	備 考
4	お花見	実施
5	レクリエーション	調理実習
6	遠足	南砺・庄川方面 (相倉合掌作り・庄川遊覧船他)
8	夏のお楽しみ会	実施
9	ふれあい育成スポーツ大会	中止
10	秋のお楽しみ会	実施
11	社会生活体験	富山市(県立美術館 ジブリ展)
12	期末の集い	実施
1	新年を祝う会	実施
2	節分の会	おやつづくり
3	ひなまつりの会 お楽しみ会	おやつづくり 実施

(4) 生産活動

さつき苑でのリテーナ作業を行う事で収入の安定につながった。引き続き自主製品の農作物販売等で収入を維持するように取り組んだ。

作業種目

- ・テクニカ株式会社によるバリ取り作業
- ・林商会のアメニティセット製作とタオルたたみ
- ・サン・フーズ広告封入作業
- ・藤堂工業のリテーナ作業
- ・よもぎ入浴雑貨と原木椎茸の生産、出荷
- ・野菜の生産、販売
- ・地域の農家への農作業

(5) 新規利用者の獲得

5年度に入り、再編成が決まり翌年の事業体形について詳細が決定していないこともあり積極的な働きかけは行わなかった。

(6) 生活行事

予定通りに実施することができた。工房よつばが無くなることで3月にお楽しみ会として開所時からの振り返りなども行うことができた。